

清水川排水機場浄化槽更新工事

設計図

図面リスト

図面 No	図面名称	SCALE	備考
M-01	タイトル 図面リスト		
M-02	機械設備工事特記仕様書(1)		
M-03	機械設備工事特記仕様書(2)		
M-04	付近見取図、配置図	S=1/300	
M-05	機械設備 浄化槽平面図、断面図 (改修図)	S=1/20	
M-06	機械設備 浄化槽平面図、断面図 (撤去図)	S=1/20	
M-07	機械設備 浄化槽周り 配管図 (撤去図・改修図)	S=1/50	



清水川排水機場浄化槽更新工事

タイトル、図面リスト

株式会社 樟設備設計事務所

〒680-0052 鳥取市鍛冶町14
二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敏



CHECKED BY
DRAWING BY
PROJECT NO
26-05

DATE
2026.08

SCALE

DRAWING NO
M-01

鳥取県
令和8年度
J2600246
東部建築住宅
事務所

一般共通事項

21 地中埋設鋼管類の防食処置

22 絶縁継手

23 防振継手

24 伸縮管継手

25 塗装

26 ステンレス鋼管の接合方法

27 溶接配管の検査

28 埋設表示

29 支持金物・固定金具

30 総合試運転調整

31 アスベスト含有建材の処理

32 補修など

33 はつり

34 はつり工事における非破壊検査

35 室内空気中の化学物質の濃度測定

36 火災保険等

37 グリーン購入

38 鳥取県公共工事環境配慮指針

39 建築物省エネ法

40 耐震施工

41 アンカーボルトの引張試験

※ 標準仕様書（ ● ベトラタム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート）による。 ● 図示による ● 標準図（施工 3） ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン

※ 合成ゴム製（球形） ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形（ステンレス製）

※ ペローズ形 ● スリーブ形

塗装は標準仕様書第 2 編 3. 2 及び図示による。

残りねじ部及びバイブレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント 2 回塗りを行う。

上記によらず ● 塗装する部分・箇所（ ） ● 塗装しない部分・箇所（ ）

呼び径 6 0 S u 以下の継手は、S A S 3 2 2 を満足する（ ※ メカニカル型 ● ）とする。

● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管

非破壊検査の適用（ ※ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ● 放射線透過検査 ● 実施しない ）

抜 取 率（ ※ 標準仕様書による ● % ）

● 地中埋設標を標準仕様書によるほか図示する箇所に設ける。

● 埋設表示用テープを埋設する。（ ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ）

ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはステンレス（ S U S 3 0 4 ）製とする。屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（ S U S 3 0 4 ）製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。

下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。

● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質

● 風速 ● じんあい ● 飲料水水质（ ● 一般飲料水適否検査 ● ）

● その他水质等（ ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ）

改修標準仕様書 第 4 章 撤去及び公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9 章 環境配慮改修工事 1 節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲

※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法は「 J I S A 1 4 8 1 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

分析調査箇所は下記によるほか図示による。

● 保温材（ ● 配管 ● 機器）（ 検体） ● 設備用シール材（ ● パッキン ● ガスケット）（ 検体）

● 断熱材（ 検体） ● 建築部材（ ● 天井材 ● 床材 ● 外壁材 ● ）（ 検体） ●

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（ ）

工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならい補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の肉開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※ 電磁誘導式または電磁波レーダー法 ● 放射線透過検査

実施する。

工事的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。）

グリーン購入は次のものとする。

● 空調用機器（ ） ● 衛生器具（ ）

● 断熱材（ ） ● 配管材（ ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ） ● その他（ ）

対象工事

対象工事

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量 1 k N 以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

（ 1 ）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）〔 k N 〕に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度	● 特定の施設	● 一般の施設			
設置場所	機器種別	●重要機器	●一般機器	●重要機器	●一般機器
上 層 階 屋上、塔屋	機 器	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
	防振設置機器	2. 0	2. 0	2. 0	1. 5
	水 槽 類	2. 0	1. 5	1. 5	1. 0
中 間 階	機 器	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
	防振設置機器	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6
地階・1 階	機 器	1. 0	0. 6	0. 6	0. 4
	防振設置機器	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6
	水 槽 類	1. 5	1. 0	1. 0	0. 6

上層階の定義 2 ～ 6 階建：最上階、7 ～ 9 階建：上層 2 階、10 ～ 12 階建：上層 3 階、13 階建以上：上層 4 階

中間階の定義 地階、1 階を除く各階で上層階に該当しないもの

重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置

● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類（燃料小出槽を含む）

● （ ）

（ 2 ）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1 ∕ 2 とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（ 3 ）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

設備機器のアンカーボルトについて、施工後に引張試験を行う。試験方法等は（ ※ 下記 ● 図示 ）による。

試験方法 ● 引張試験機による引張試験 ●

確認強度 ● 対象機器ごとのアンカーボルト 1 本に作用する短期的引抜き力以上 ●

試験箇所数 ● 1 施工単位に対し 1 本以上 ● 全数 ●

対象機器 ● 重要機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● ポンプ ● 換気設備 ● 制御盤類 ●

1 空気調和設備

2 冷暖房設備

3 換気設備

4 排水設備

5 自動制御設備

1 設計用温度湿度条件

2 冷却水管

3 冷水・温水・冷温水管

4 膨張・空気抜・補給水管

5 蒸気給気管

6 蒸気還水管

7 油・油用通気管

8 冷媒管

9 空調用給水管

10 空調用ドレン管

11 弁類

12 ファンコイルユニット

13 ダンパー

14 ダクト

15 吹出口・吸込口

16 チャンバー等

17 消音内貼り

18 瞬間流量計及び流量測定口

19 定風量・変風量ユニット

20 温度計

21 冷温水管の空気抜き

22 空調機用トラップ

23 銅板製煙道

24 オイルサービスタンク

25 地下オイルタンク

26 油面制御装置

27 フィルター等付属品

28 パッケージ空調機的能力表示

29 防振吊り及び支持金物

30 機器の配線・遮断機仕様等

4 1 ダクト

2 1 排煙口

3 1 排煙口開放及び復帰方式

4 1 排煙風量測定

1 1 中央監視制御盤装置

2 1 電源装置

3 1 温度調節器等

4 1 計装工事の配線

※ S G P（白） ● S G P－V A ● S G P－P A

※ S G P（白） ● S G P－H V A ● ステンレス鋼管（ S U S 3 0 4 ）

● 架橋ポリエチレン管（ファンコイル機器接続部に限る） ● ポリプテン管（ファンコイル機器接続部に限る）

※ S G P（白） ● ステンレス鋼管（ S U S 3 0 4 ）

※ S G P（黒）

※ S T P G 3 7 0－S c h 4 0（黒） ● ステンレス鋼管（ S U S 3 0 4 ）

一般配管 ※ S G P（黒） 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

※ 冷媒用断熱材被覆鋼管

● ステンレス鋼管 ● S G P－V A ●

※ V P ● カラーV P（ ● 屋外露出部 ● ） ● S G P（白）

※ 5 K ● 1 0 K

※ 流量調整弁 ● 定流量弁（ ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ）を取付ける。

（ア）防煙ダンパー ※ 遠隔復帰式 ● 電気式（動作用電圧、電流は D C 2 4 V、0. 7 A 以下とする。）

（イ）ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●

※ 低圧ダクト ● 高圧 1 ダクト ● 高圧 2 ダクト

● 長方形ダクト ● コーナーボルト工法（ ● 平板工法 ● スライドオンフランジ工法 ）

（長辺 1 5 0 0 mm を超えるものはアングルフランジ工法とする。）

● アングルフランジ工法

● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後 1 5 0 mm を 1. 6 mm 厚銅板製とする。

ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスワール製

シーリングディフューザーの接続は、標準図（施工 5 0）を参考とする。

接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。

線状吹出口には、長さ＋ 1 0 0 × 3 0 0 × 3 0 0 H の接続チャンバーを設ける。

外壁に面するガラリにチャンバー等設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。

内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。

吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口（原則 4 0 0 × 6 0 0）を取付ける。

形式はビーター管式（コック付）とする。 ● 着脱式 ● 固定式

下記の箇所、若しくは図示により取付ける。

● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● 冷温水ヘッダーの各送リ管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から 2 m の範囲とする。

トラップ形式はフロートボール式（床置型） ※ F R P 製保温型 ● F R P 製 ● S U S 製

材質及び厚さ ● S S 4 0 0（ ※ 3. 2 mm ● 4. 5 mm ） ● S U S（ ※ 1. 5 mm ● 2. 0 mm ）

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける

● ユニポート形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング

● メカニカル形 ● 風速センサー形

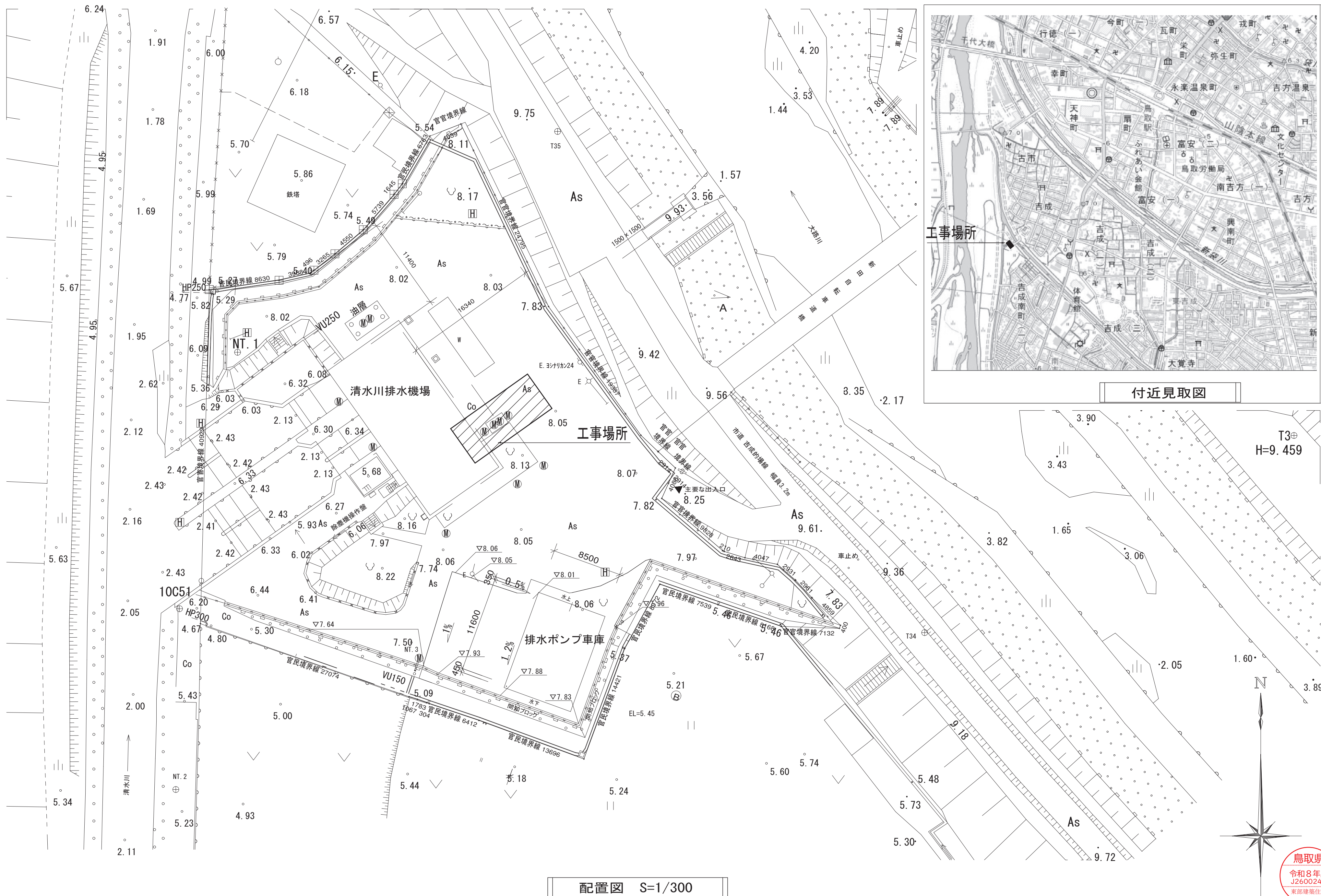
機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付 L 形温度計

空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。

※ 手動 ● 自動

自動空気抜き弁装置は標準図による。（施工 3 9（g））

機械室の手動式



配置図 S=1/300

清水川排水機場浄化槽更新工事

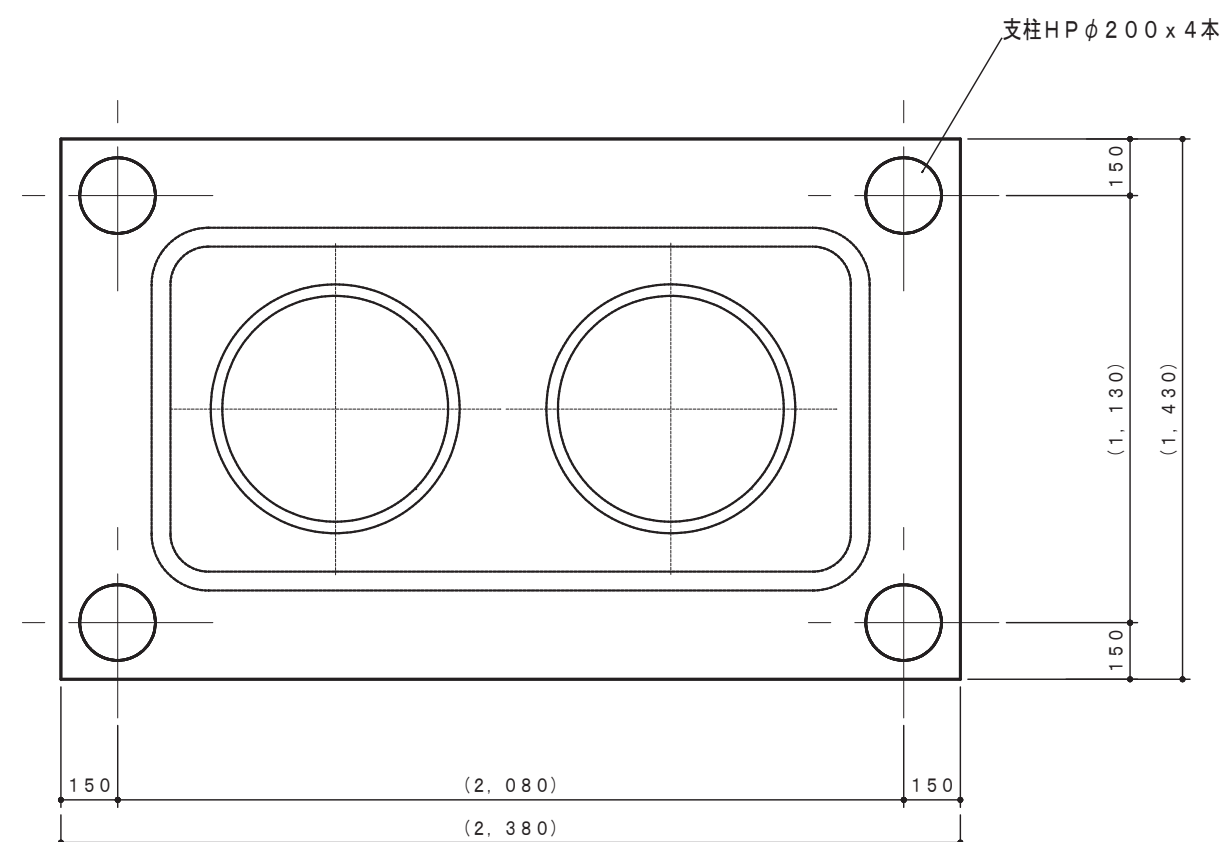
付近見取図、配置図

株式会社 樟設備設計事務所

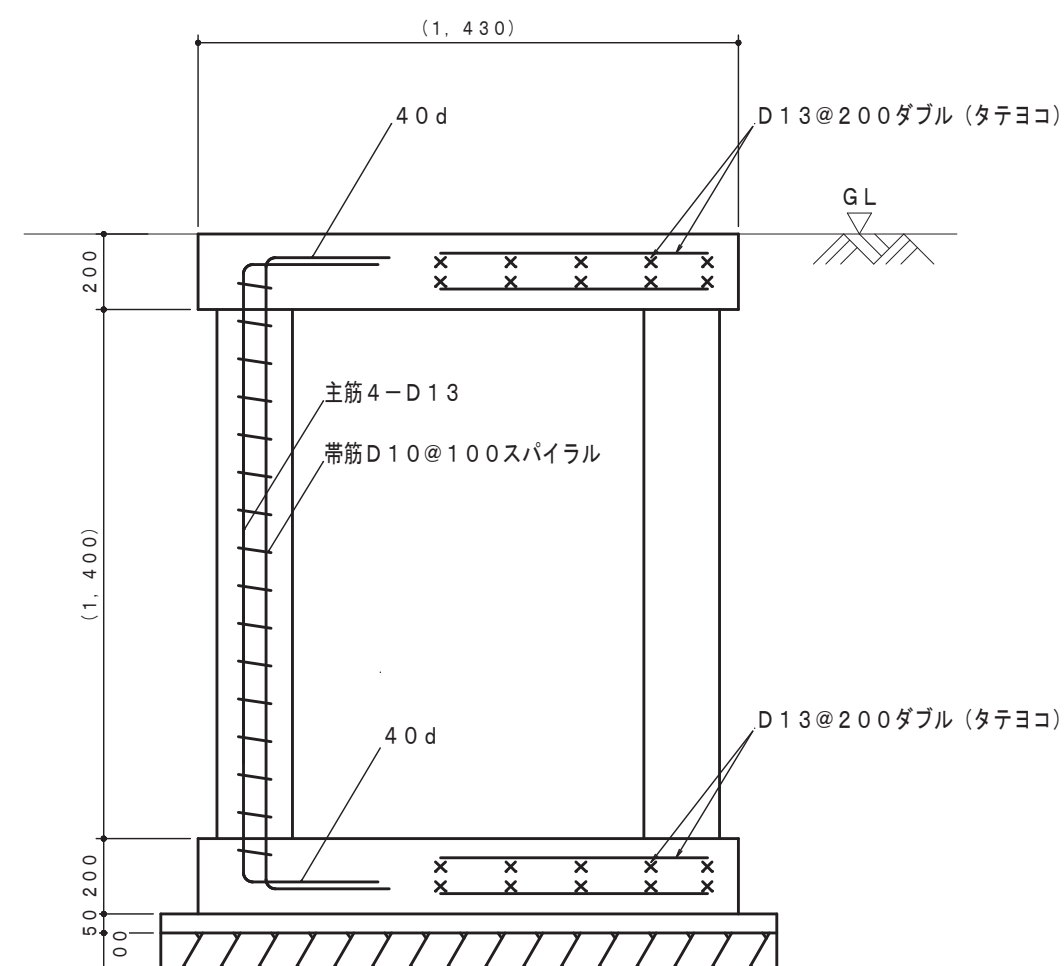
〒680-0052 鳥取市鍛冶町14
二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敏

CHECKED BY	DRAWING BY	PROJECT NO	DATE	SCALE	DRAWING NO
谷本	西川	26-05	2026.08	S=1/300	M-04

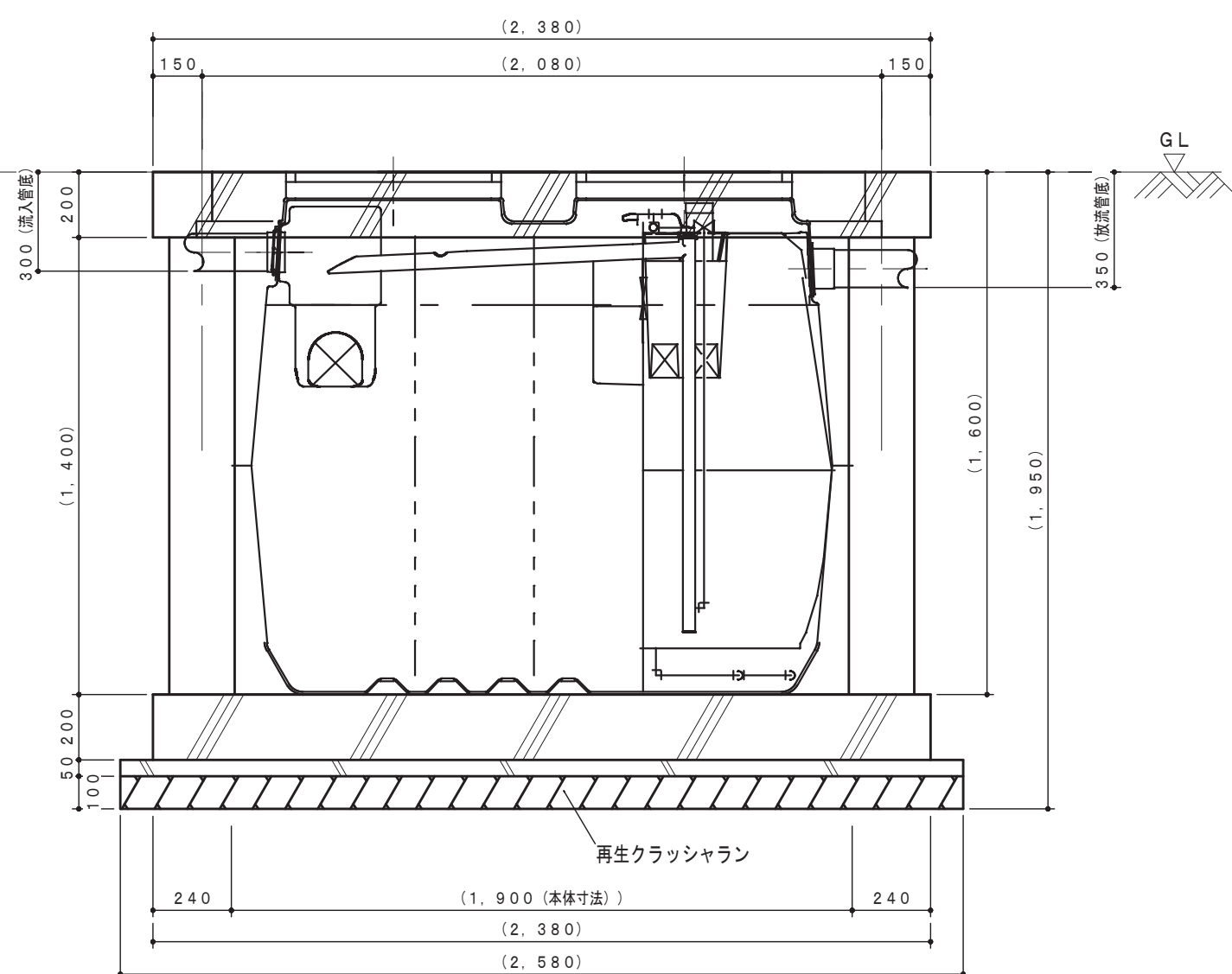
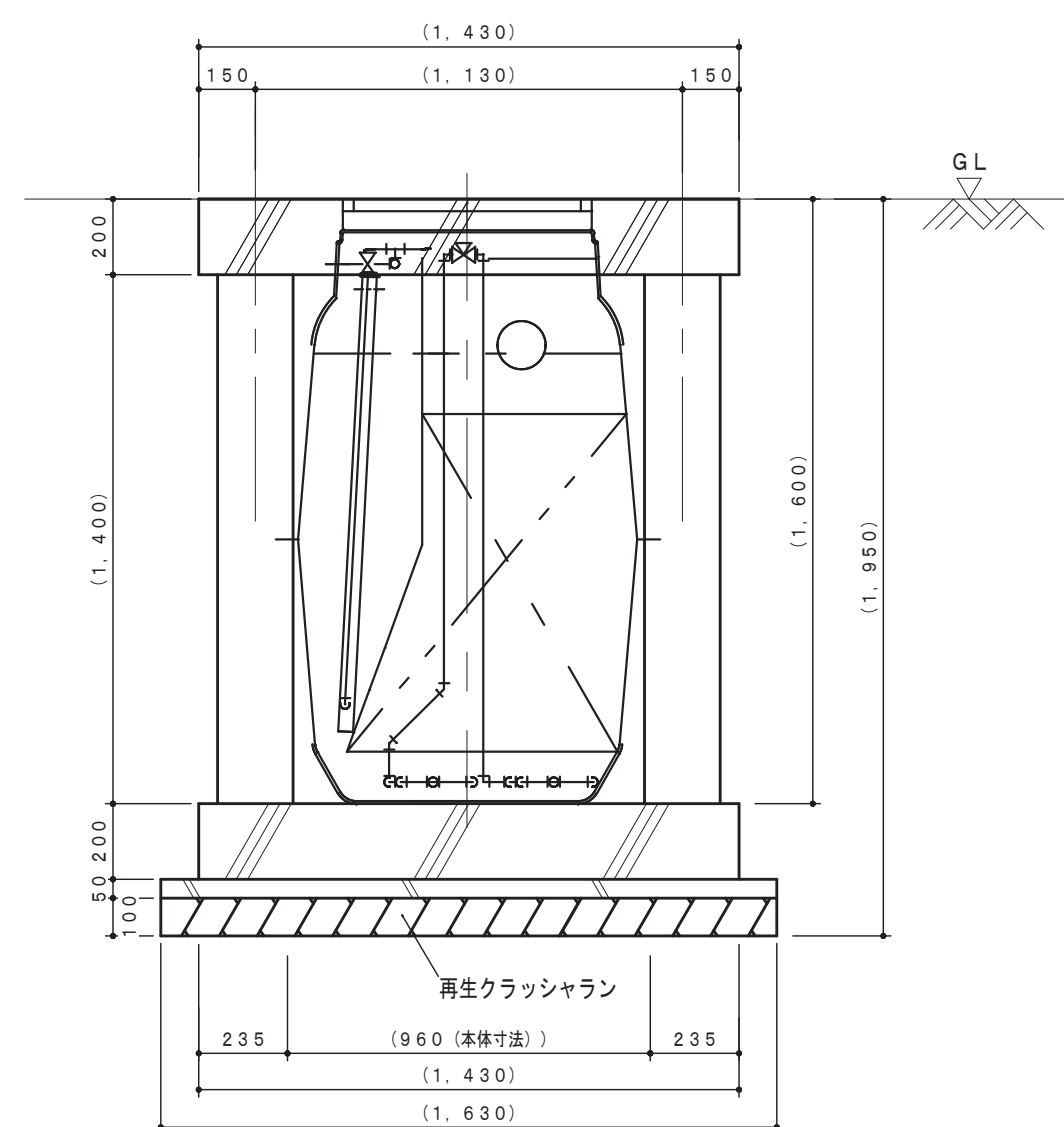
鳥取県
令和8年度
J2600246
東部建築住宅
事務所



平面图 S=1/20



断面 配筋图 S=1/20

断面図 $S=1/20$ 断面図 $S=1/20$

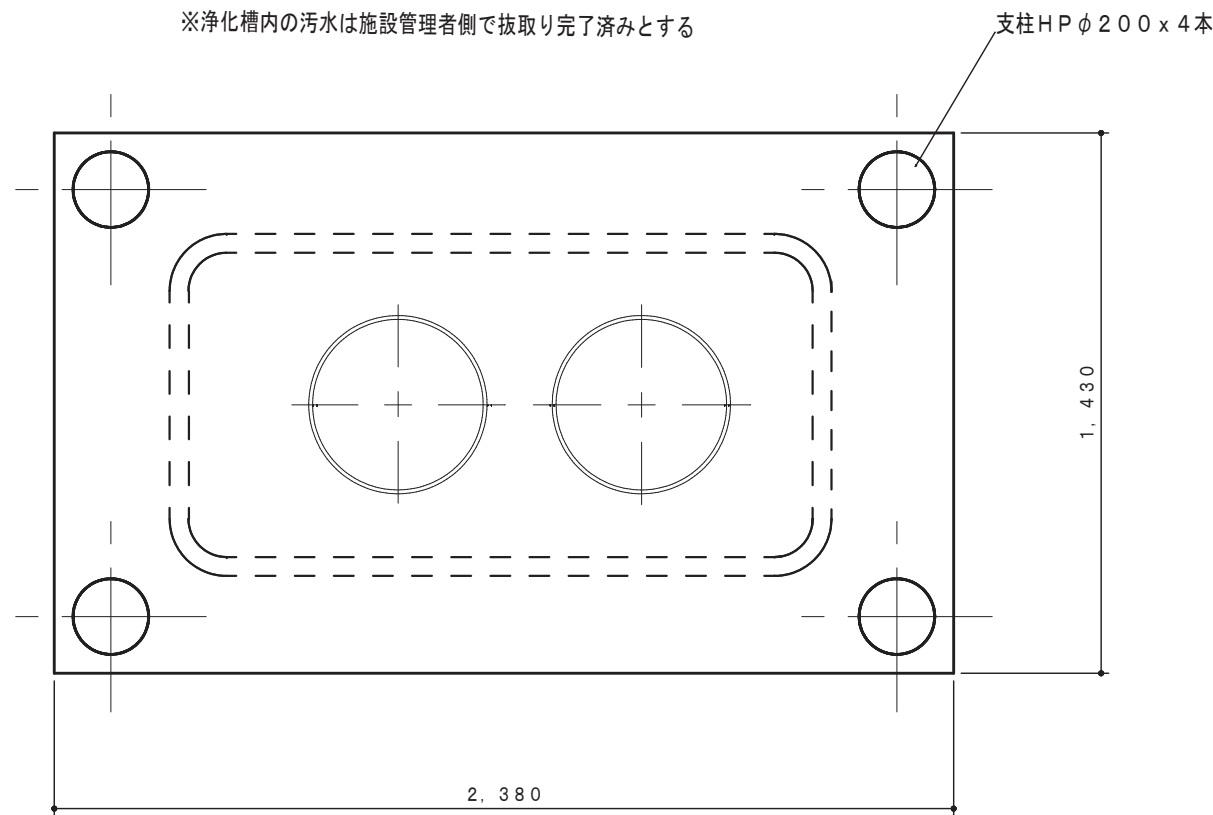
型式	X J - 5	(参考品番)
認定番号	8-24-H-001	(参考)
仕 様 表		
分類	合併処理	
処理計画人員	5 人	
処理計画汚水量	1. 0 m ³ /日	
流入水質	B O D 200 mg/L	
	C O D 100 mg/L	
	S S 60 mg/L	
	T-N 45 mg/L	
放流水質	B O D 20 mg/L	
	C O D 30 mg/L	
	S S 20 mg/L	
	T-N 20 mg/L	
処理方式	横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式	
有 効 容 量 (m ³)		
横向流夾雑物除去槽	1. 0 7 4	
接触ろ床槽	0. 3 7 3	
処理水槽	0. 1 4 1	
消毒槽	0. 0 1 5	
電気機器仕様		
ブロウ	1 0 0 V-単相-3 5 W	1 台

注記
上記製造社を特定する仕様は、参考とする。
スラブ荷重は、 $T-6$ とする。
コンクリート強度： $F_c = 21-18-25(20)$ とする。
捨てコンクリート強度： $F_c = 18-15-25(20)$ とする。
鉄筋はSD-295
開口部補強筋を設けること。(D13-4本、ダブル)
開口部補強筋の定着長さは、 $L = 40d$ とする。
マンホールは、MHA製(ロック付)とする。
ブローエア管、管材質はHI-VPとする。

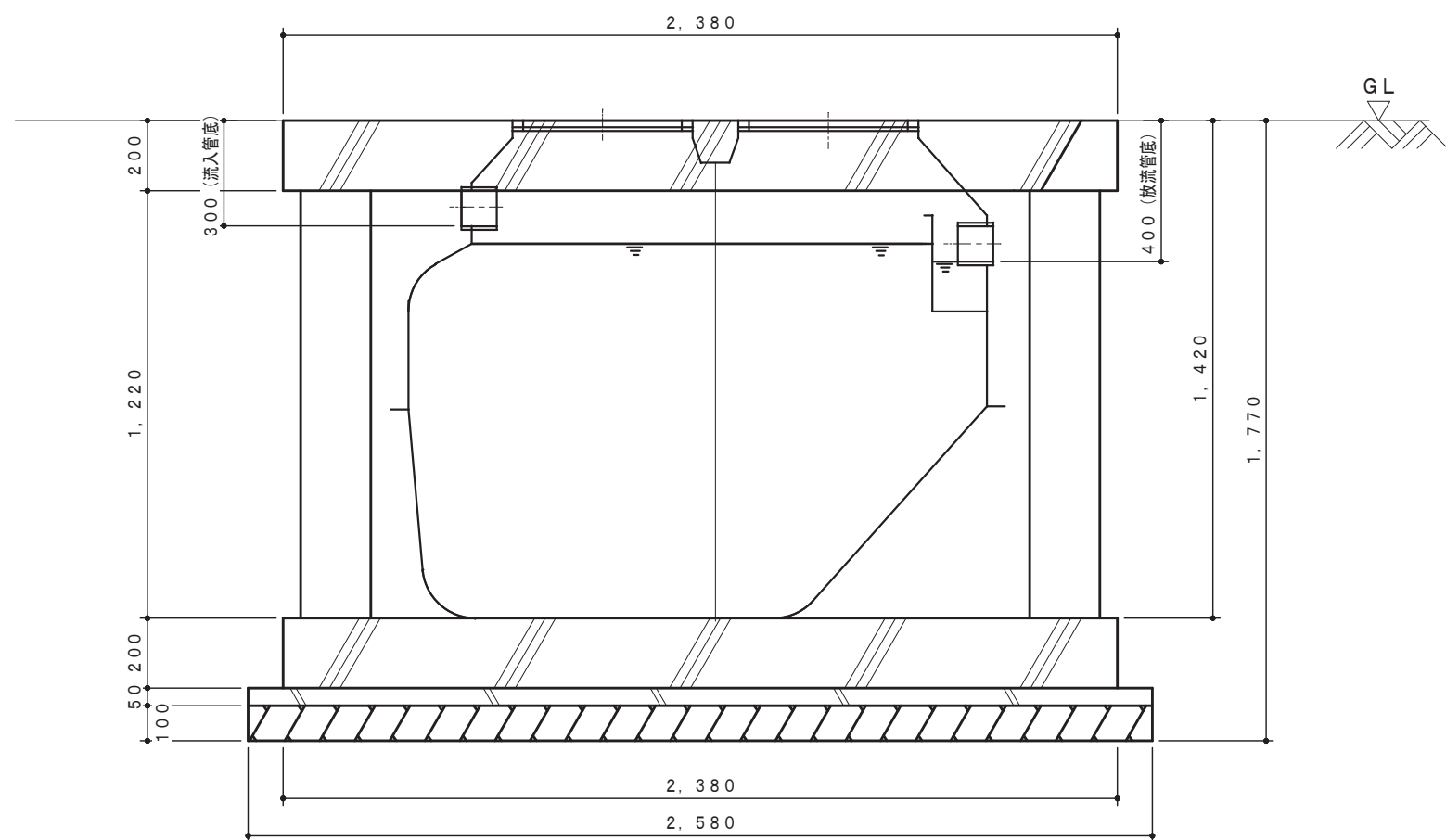
浄化槽算定表
類似用途別番号 10-4 作業所（厨房設備無し）
$n = 0.3P$ （P：人員=15人）
$n = 0.3 \times 15人 = 4.5人$
依って、浄化槽5人槽を設置する

※各図（）内の寸法は参考とし、採用した浄化槽に合わせ適切に計画のこと

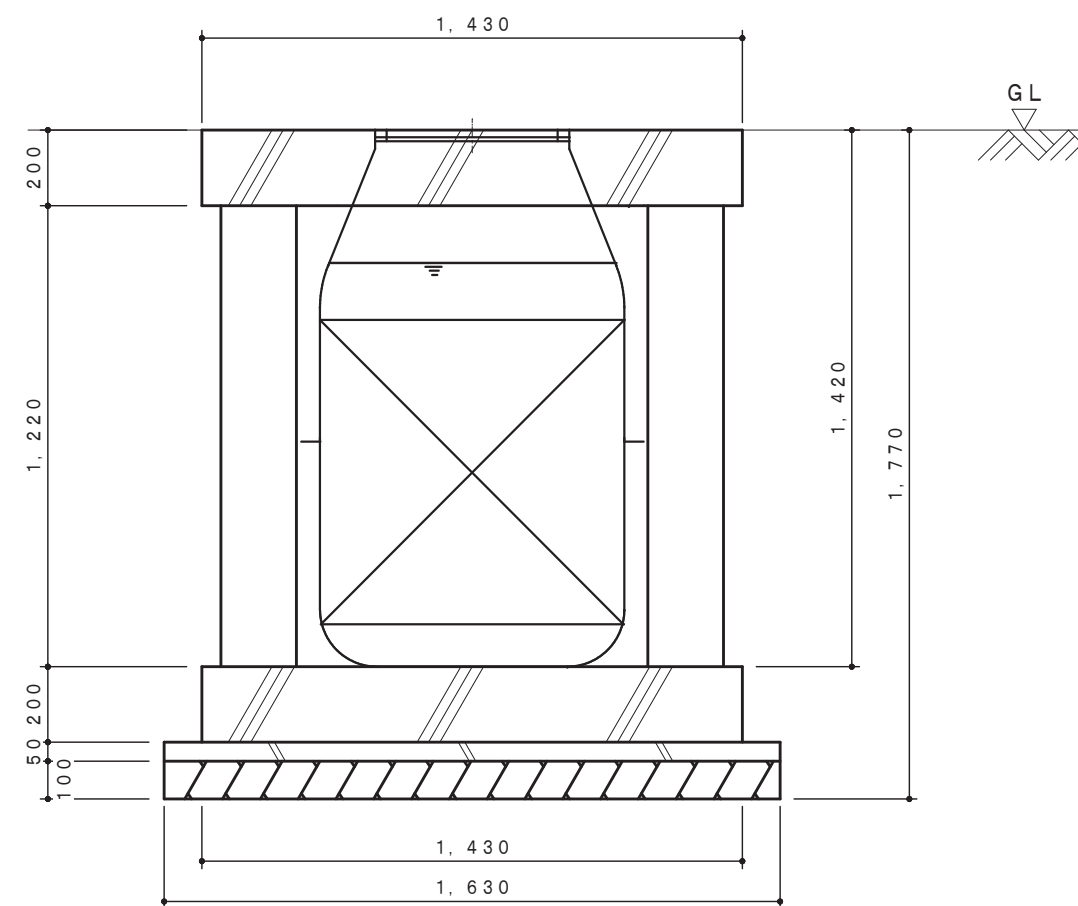
単独処理5人槽 告示第1292号第2第1号
分離接触ばっ気
汚水量1.223m³
総容量1.47m³
※浄化槽内の汚水は施設管理者側で抜き取り完了済みとする



平面図 S=1/20

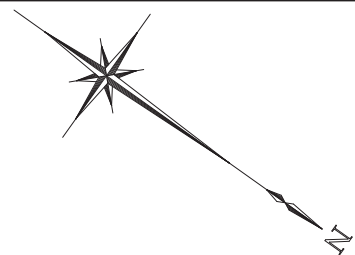


断面図 S=1/20



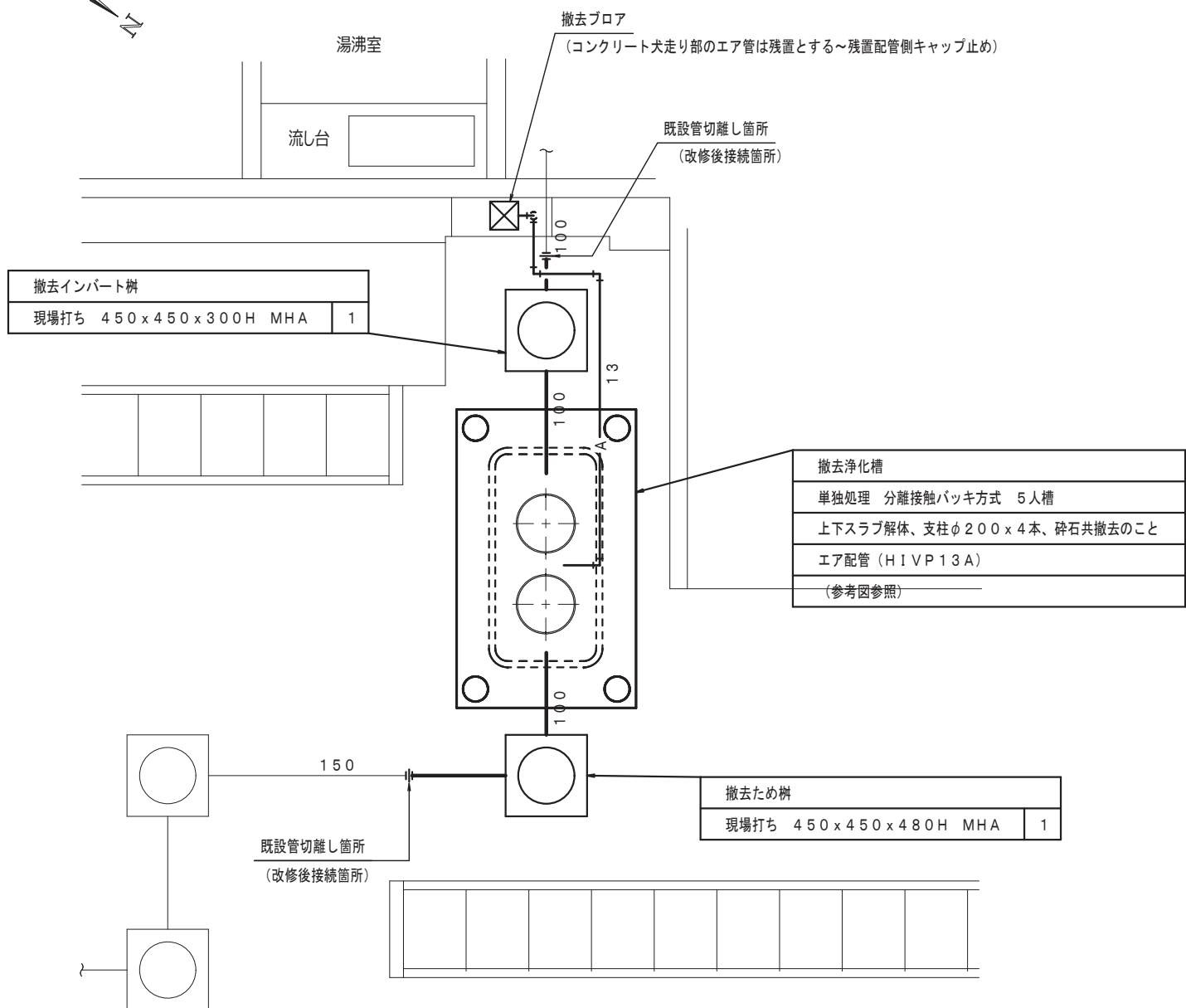
断面図 S=1/20

特記事項
・薄線は既設配管等を示す
・濃線は撤去配管等を示す



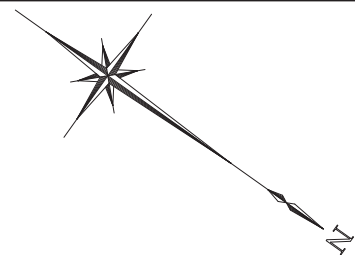
※既設洗面器（L230、単水栓）撤去のこと
・撤去跡の補修は本工事とする

撤去図

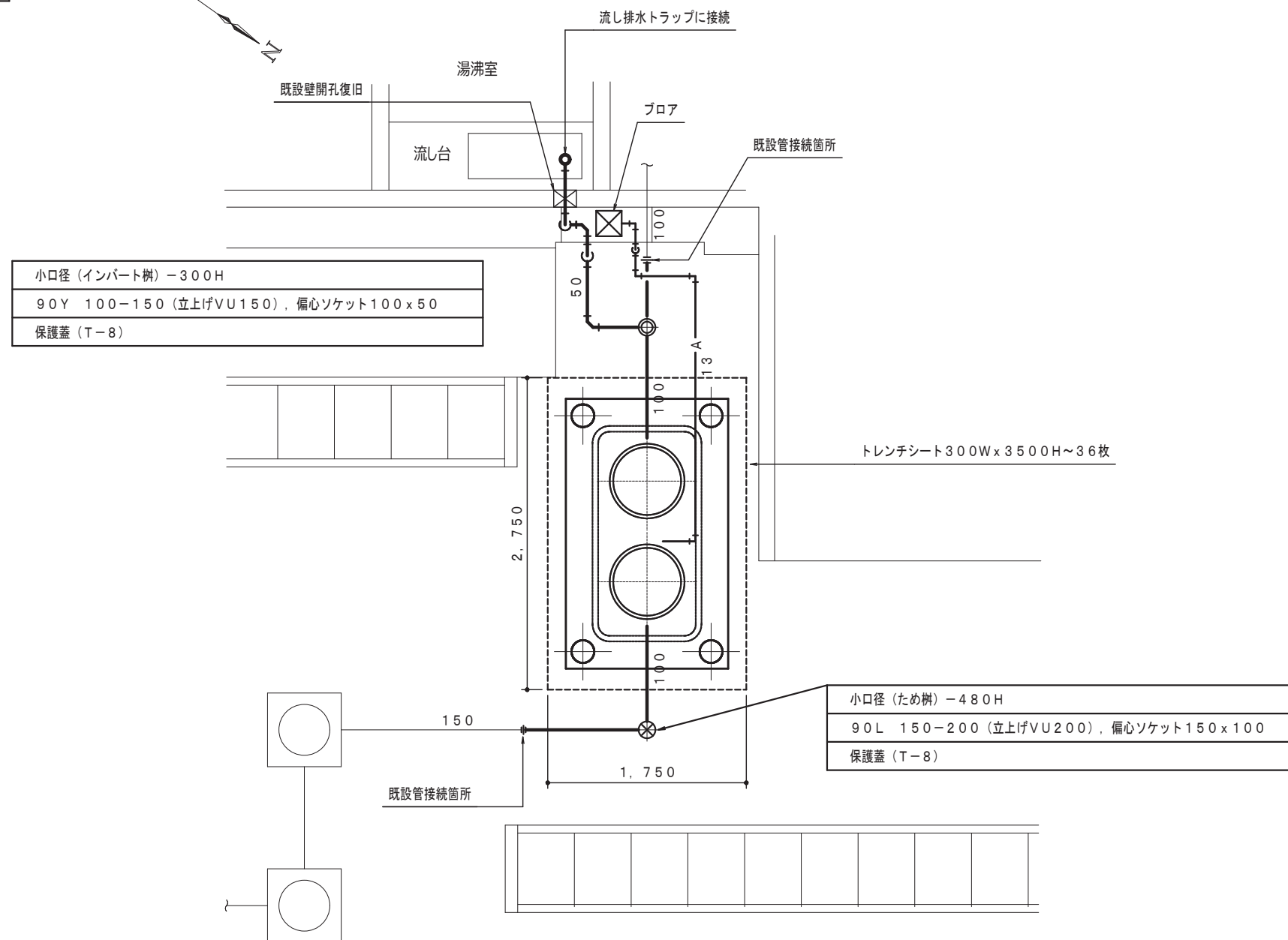


浄化槽周り 配管図 S=1/50

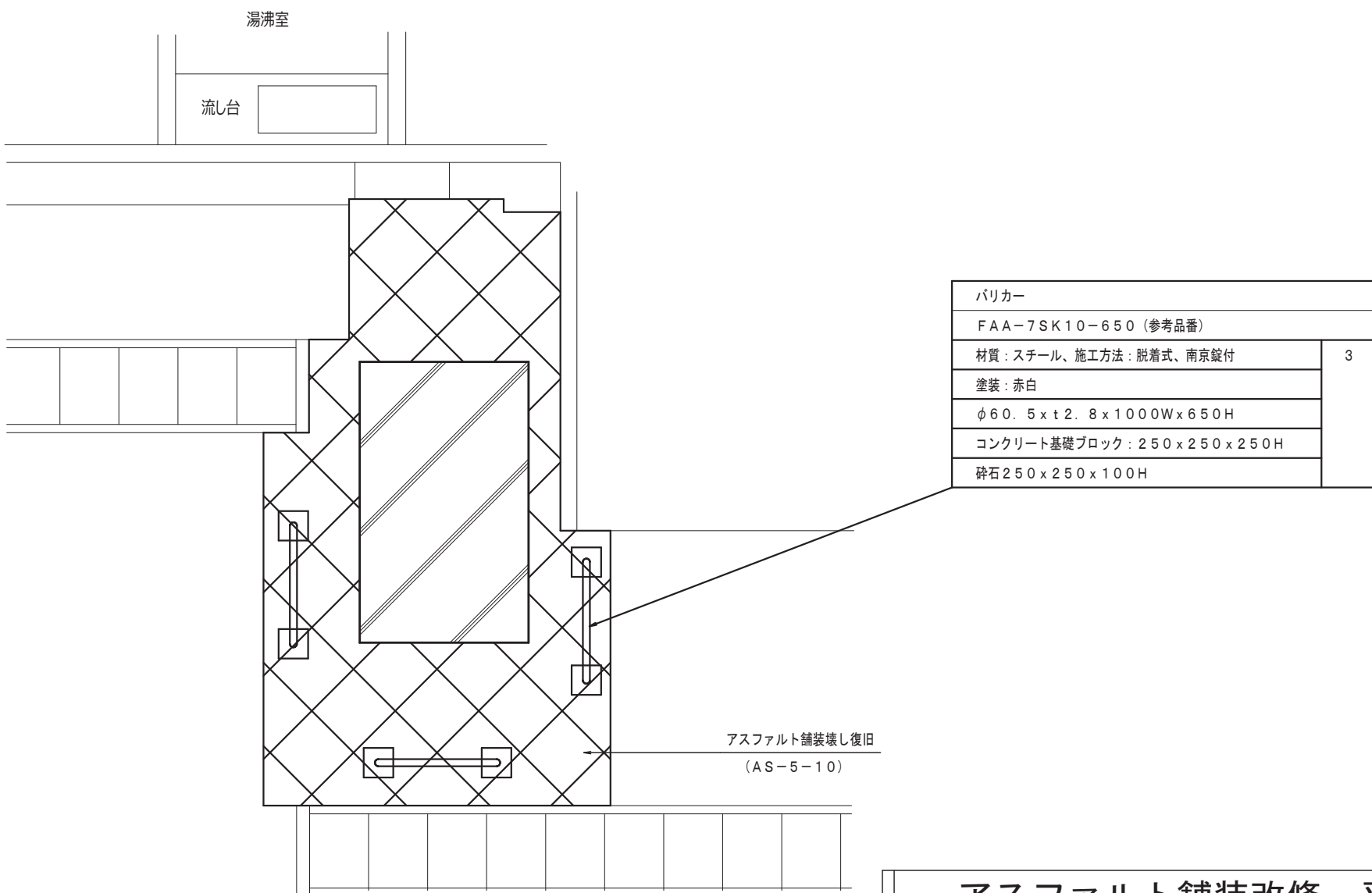
特記事項
・薄線は既設配管等を示す
・濃線は改修配管等を示す



改修図



浄化槽周り 配管図 S=1/50



アスファルト舗装改修 平面図 S=1/50



清水川排水機場浄化槽更新工事

機械設備 浄化槽周り 配管図

(撤去図・改修図)

株式
会社

樟設備設計事務所

〒680-0052 鳥取市鍛冶町14
二級建築士登録番号 第2810号 谷本 正敏

CHECKED BY
谷本

DRAWING BY
吉田

PROJECT NO
26-05

DATE
2026.08

SCALE
S=1/20

DRAWING NO
M-07